



# LED屋外ブラケット (防雨型)

ご使用になれる前に必ずお読みください

## 安全に関するご注意

この取扱説明書には取り付け方や交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

器具（簡易取り付け型、ダクトレール用、プラグ付きを除く）及び配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

### 仕様

品名	使用電圧	適合ランプ・口金(E11)	別売ランプ	消費電力	入力電流	調光
AN-3263	AC100V	φ30 LED電球 ダイクロハロゲン形 《調光》LDR5まで×1灯	No.297AM (LDR5L-M-E11/D/30/R90) 電球色	4.8W	0.055A	位相調光 (1~100%)
			No.297AW (LDR5L-W-E11/D/30/R90) 電球色			
			No.297BM (LDR5L-M-E11/D/30/R90/30K) 電球色			
			No.297BW (LDR5L-W-E11/D/30/R90/30K) 電球色			
			No.297CM (LDR5N-M-E11/D/30/R90) 昼白色			
			No.297CW (LDR5N-W-E11/D/30/R90) 昼白色			

※AN-3263:1回路の最大接続台数は100V時100台までです。(調光器未接続・定格15A配線器具使用時)

## 安全上のご注意：必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するため、内容をよくご確認ください。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしたりしない  
火災、感電、落下の原因になります。



アース工事  
必ず実施する

- アース工事は、電源設備の技術基準にしたがって確実に起こさう  
感電の原因になります。



浴室禁止

- 湿気の多いところでは使用しない  
火災、感電の原因になります。



禁止

- 凹凸面に取り付けない  
浸水による火災、感電の原因になります。
- 布や紙などで覆ったり、燃えやすいものを近づけたりしない  
火災の原因になります。
- 器具の隙間や放熱穴にものを差し込まない  
火災、感電の原因になります。



必ず実施する

- 重量に耐えるところに確実に取り付ける  
落下によるけがの原因になります。
- 取り付けは取扱説明書にしたがって確実に起こさう  
不完全な取り付けは、火災、感電、けがの原因になります。
- 電源接続は取扱説明書にしたがって確実に起こさう  
接続不良による火災の原因になります。
- 指定の方向で取り付ける  
指定以外の方向で取り付けると火災、感電、けがの原因になります。



必ず実施する

- 指定のランプを使用する  
指定以外のランプは火災の原因になります。
- グローブ等の部品をはずし再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付ける  
不完全に取り付けると落下し、けがの原因になります。
- ランプ交換やお手入れの際には電源を切る  
感電の原因になります。
- 異常を感じた場合は速やかに電源を切る  
異常状態がおさまったことを確認し、販売店または工事店にご相談ください。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽症を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。



スプレーがけ  
水かけ禁止

- ホースや高圧洗浄機で水をかけたり、スプレー式洗剤をかけたりしない  
故障、感電、火災の原因になります。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない  
故障、火災の原因になります。



禁止

- 腐食性ガス・粉じんの影響を受ける場所、振動の多い場所では使用しない  
損傷、過熱、火災、感電、落下の原因になります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後のランプおよび器具にさわらない  
やけどの原因になります。



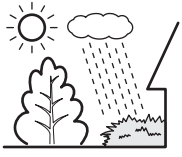
必ず実施する

- 表示された電源電圧で使用する  
火災、感電の原因になります。
- 電源工事は必ず販売店・工事店(有資格者)に依頼する  
一般の方の電源工事は禁止されています。
- 定期的に清掃、点検をする  
不具合を発見した場合は使用を中止し、販売店・工事店に修理を依頼してください。

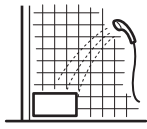
## 設置場所の確認： 取付前にご確認ください

**警告** 必ず以下の設置条件をお守りください。

○ 屋外

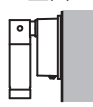


✕ 一般住宅浴室



浴室等の湿気の多いところでは使用しないでください。  
火災・感電の原因になります。

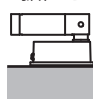
○ 壁面



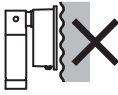
○ 天井面



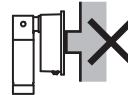
✕ 据置き



防水処理をしていない凹凸面

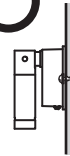


取付面がパッキンより小さい場所

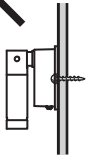


ねじ止める箇所は必ず補強してください。

○



✕

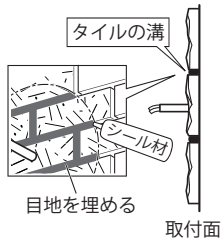


補強材

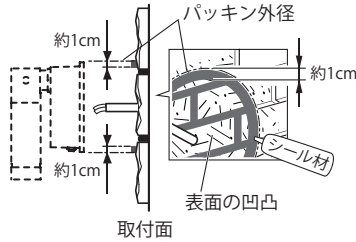
## 防水器具の取付面処理

取付面に溝や凹凸がある場合は必ず防水処理をおこなってください。 パッキンだけでは浸水します。

[1] 取付面の溝をシール材で埋める



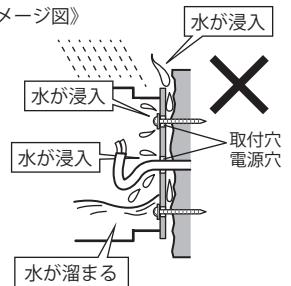
[2] 取付面(パッキン)から内側に約1cmの幅でシール材を塗る



**警告**

防水処理が不完全な場合、感電・火災・器具破損の原因になります。

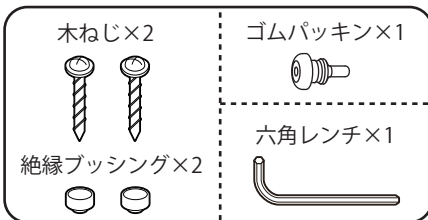
《イメージ図》



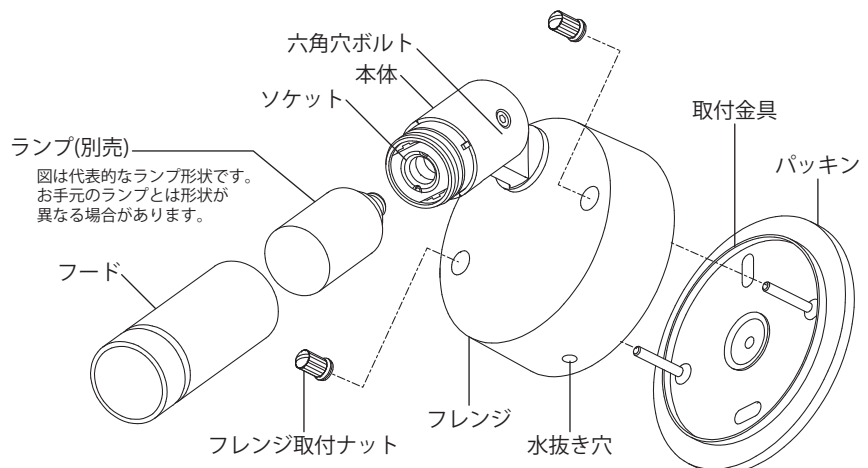
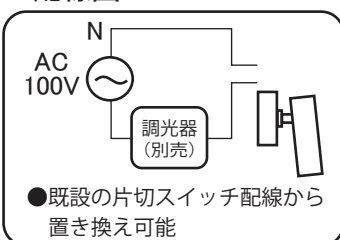
## 各部の名称

この取扱説明書の図は一部抽象・省略化した共通図です。お求めの器具とイラストは違っている場合があります。

### ■付属品



### ■配線図



# 器具の取り付け：電気工事士の資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください

**警告** 器具の取り付けは重量に耐えるところに確実にしておこなってください。取り付けに不備があると落下し、感電、けがの原因となります。

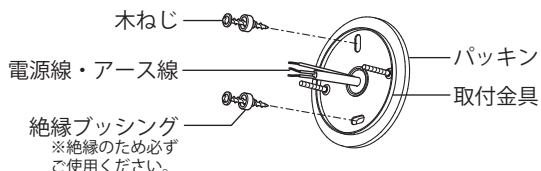
## 取付面の防水処理はお済みですか？

お済みでない場合は 2 ページ「防水器具の取付面処理」を参照して防水処理を確実にしておこなってから器具の取り付けにお進みください。

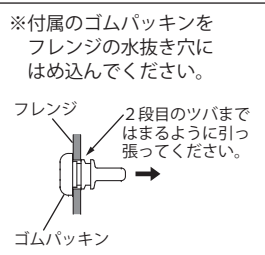
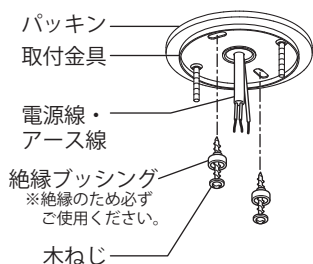
### [1] パッキン・取付金具を取り付けてください。

#### 【壁面に取り付ける場合】

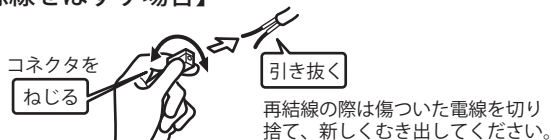
付属のゴムパッキンはフレンジに装着しないでください。



#### 【天井面に取り付ける場合】



#### 【電源線をはずす場合】

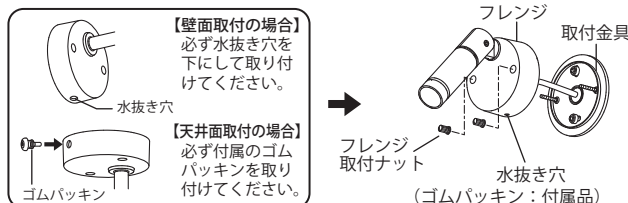


### (2) アース線をフレンジ背面のアースねじに接続してください。

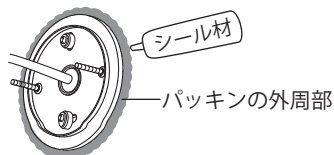
●必ずD種（第三種）接地工事をおこなってください。接地が不完全な場合、火災の原因となります。

### [4] フレンジを取り付けてください。

フレンジの穴に取付金具のねじを通し、フレンジ取付ナットで固定してください。

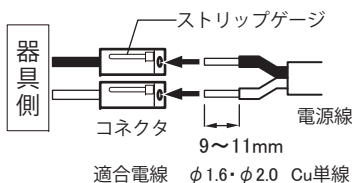


### [2] パッキンの外周部にシール材を塗ってください。



### [3] 電源線・アース線を接続してください。

#### (1) 電源線をコネクタに接続してください。



電源線を9~11mmむき出し、先端がコネクタの奥に突き当たるまでさし込みます。電源線を引っ張り、確実に結線されているか確認してください。



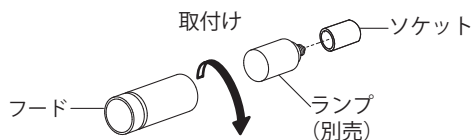
●傷ついたり、むき出し長が不適切な電線は、接触不良、絶縁不良等による発熱・焼損のおそれがあります。

●曲がった電線は挿入不足となり、発熱による焼損や火災のおそれがあります。

### [5] フードを取りはずし、ランプ(別売)を取り付けてください。

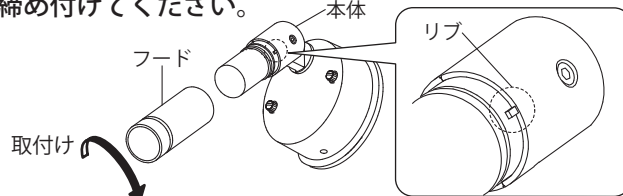
ランプをソケットに時計回り方向にねじ込み確実に取り付けてください。

●ランプを必要以上に強くねじ込まないでください。破損するおそれがあります。



### [6] フードを取り付けてください。

フードは本体のリップに当たるまで回して確実に締め付けてください。



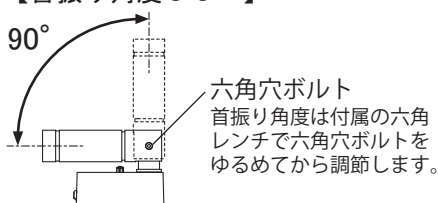
**警告** 浸水の恐れあり  
フードは確実に締め付けてください。

## 灯具の可動範囲

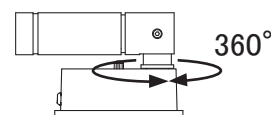
灯具を可動させる場合は必ず電源を切り、しばらく時間をおいてからおこなってください。やけどの原因になります。

**注意** 調節後は確実に六角穴ボルトをしめてください。しめつけ不十分は浸水の原因になります。

#### 【首振り角度90°】



#### 【回転角度360°】



## 調光器適合表

調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用ください。

★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

調光器名称 [ ルートロン社 ]	インターフェース名称	1 回路当たりの最大接続台数
グラフィックアイ QS	マルチパワーモジュール および 低負荷容量インターフェース ※1	20 台

※1 総負荷容量が 10W 未満の場合

※2 最新情報は山田照明ホームページにてご確認ください。

〈使用上のご注意〉

他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。あらかじめご了承ください。

## 保守・点検・その他の留意点

### [1] LED電球について

- (1) LEDには光のバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- (2) LEDを長時間直視しないでください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- (3) 器具のきわめて近くで、赤外線リモコン方式のテレビ等の機器を使用すると、リモコン操作に影響を与える場合があります。
- (4) 器具を山間部、鉄筋建物等の電波の弱い地域でご使用する場合、音響、映像機器に影響を与えることがあります。特に器具の近くでのラジオの使用はお避けください。雑音が入る場合があります。
- (5) ランプが点灯しない場合、以下のようなことが考えられます。
  - \*電源が入っていない。→壁スイッチ、その他、器具についているスイッチを再度確認してください。
  - \*ソケットにランプが正しく接続されていない。→ソケット、ランプの接続部分を再度確認してください。
  - \*ランプの寿命。→ランプを交換してください。
- (6) ホタルスイッチは3個までとしてください。
  - 4個以上では、スイッチを切ったときにランプが点滅したり暗く点灯することがあります。また壁スイッチ点灯切替機能付きの器具は、正常に切替ができない場合があります。

### [2] お手入れについて

- (1) 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
    - \*汚れがひどい場合は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤分が残らないように水で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
    - \*木材、紙、布などは水拭きせず、柔らかい布またははたきで、こまめにほこりを落としてください。
- 【ご注意】  
※スプレー式洗剤などを直接器具にかけると火災の原因になります。必ず布に含ませてご使用ください。

※シンナー・ベンジン等のご使用はお避けください。器具が変色・変形する場合があります。

- (2) 明るく安全に使用していただくために、本体表示または取扱説明書にしたがって定期的に点検をおこなってください。

### [3] その他の留意点

- (1) 揮発性物質および殺虫剤等を器具にかけないでください。
- (2) 長期間ご使用にならない場合は次のような保管環境をお守りください。
  - \*直射日光を避けて0~35℃の温度範囲で保管してください。
  - \*ほこりの多い場所での保管は避けてください。
  - \*35~85%の湿度範囲で保管してください。
- (3) 廃棄の際は分別回収にご協力お願いいたします。

### [4] 照明器具の寿命について

#### ⚠ 注意

設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。  
(JIS C 8105-1 解説による)

- ※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
  - 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
  - 点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。
- 「安全チェックシート」は弊社ホームページ  
(<https://www.yamada-shomei.co.jp>) で紹介をしています。

## ■LEDの光源ユニットについて

LEDの光源寿命(※)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、

全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

## ■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番(器具本体のラベルでご確認ください)、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。